

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年2月4日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300534
法人名	医療法人 おさしお会
事業所名	グループホーム かたらい
所在地	鹿児島県鹿屋市笠之原町1321番地1 (電話) 0994-43-2195
自己評価作成日	平成22年12月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年1月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は、個々の人権を尊重し住み慣れた地域で在宅での生活と同じような環境をつくり、くつろぎの空間に力を入れ、季節感あふれるホールづくりをし季節を感じる事が出来るホームです。職員と利用者との間に馴染みの関係を築き気兼ねなく会話ができて安心して生活が送れるように心がけている。個々の方にあったケアに努め職員一人ひとりが利用者と共に寄り添いながら身体的ケアだけでなく、精神的ケアを図り一つの家族となれるように支援している。また、利用者の家族に当事業所に足を運んで頂き、運営推進会議にも参加して頂き、改善点を話し合い、利用者だけでなくその家族も含めて全体で一つの事業所づくりを行っている。同法人の医療機関が近くにある為、病状の変化に早期対応が出来、健康面や精神面でゆとりのある場所の提供が出来ている。また、同法人のデイサービスも並んでおり、行事等には共に参加している。地域との交流もあり、安心して生活できる事業所となっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

同敷地内に事業所の母体医療機関とデイサービスが隣接しているため、医療面での充実と行事参加での交流、緊急時の協力体制が確立されている。

職員はチームワークがよく、利用者への担当制を決め「利用者一人ひとりが少しでも良くなるように」との思いを込めて、日々のケアを行っている。

季節や行事に合わせた作品を、利用者と一緒に作って展示したり、季節の野菜作りをして、季節感を味えるような支援をしている。

外出の機会を多くもち、家族や地域との交流が豊かになるよう推進している。

避難訓練を毎月行い、利用者の安全第一の運営をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義を理解し設立時の理念をホールに掲示し職員全員で意識してケアに取り組んでいる	開設時より、地域密着型サービスの意義や役割をふまえた独自の理念を作り上げている。理念をホールに墨字で大きく掲示し、管理者は、理念がケアに活かされるよう職員に話をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	天気の良い日は外気浴、散歩を日常的に取り入れ近隣の方が通りかかった時は挨拶をしあい、地域の公園で開かれる花見会などに参加、紹介してもらっている	地区の花見会や演芸会に参加している。また、地域住民から野菜の差し入れや大根堀りに行くなど、地域との交流がある。保育園児が慰問に訪れたり、中学生の職場体験学習も受け入れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	かたらいのイベントに地域の方々を招待し参加を呼びかけ交流を図る事に努めている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的開催し利用者の実際の活動内容を報告しその中で取り上げられた要望や疑問点に答えている	会議では、入居者の状況や活動内容報告・行事案内・外部評価の結果報告等を行っている。消防分団員の参加者から、緊急時の避難誘導のために各居室に独自の工夫をとる意見に、出された意見をもとに、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の連絡は、窓口で直接持参しかたらいだより等も目を通してもらうよう働きかけたり、報告書の記録の仕方は窓口にてアドバイスをもらっている	市の担当者とは、利用者の状況や情報交換・事故防止対策等の相談を行っている。また事業所の行事や会議に出席してもらいながら連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	道路に面しているため、安全面を考慮して施錠をしているが、随時利用者の希望に添う形で対応している	ホームが道路に面しているため、家族からの要望もあり、玄関は暗証番号式のカギで対応している。身体拘束廃止についての研修会に参加したり、毎月の会議の中で身体拘束や言葉の虐待について研修を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加し、参加した職員は報告書に記しかたらい会で発表し他の職員と共有し防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修に参加し、参加した職員は報告書に記しかたらい会で発表し他の職員と共有している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の締結などの際は、当内科相談員を2人で面会し話し合い理解、納得していただいている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>相談受付担当職員2名立て家族の面会時には声をかけ意見を言いやすい雰囲気作り心がけている。要望等あった場合職員が共有し運営に反映している</p>	<p>家族の要望や意見を把握するため、相談受付担当職員で対応している。面会時に職員が声かけを行い、何でも話せるような雰囲気作りを行い、意見や要望を聞くようにしている。出された意見は運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回のかたらい会において、事務長などの参加があるので、その席で意見を出し合い解答が出るものはその場若しくは後日、答えをもらっている</p>	<p>毎月の職員会議で、意見や要望を出してもらったり、個人的な相談を受ける機会を作っている。法人全体での「人事考課制度」の導入も始まり、利用者のサービス向上と職員の処遇改善に努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資質向上の為に、一つの取り組みとして人事考課制度を導入し、職員一人ひとりの現状の認識と目標を定め技術・能力の向上を目指す</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修案内の情報を受け職員の力量に応じ参加するように努めている。又、法人内研修には全員参加を促している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>勉強会や研修会を通じて名刺交換によりネットワークをつくり、情報交換をし、サービスの質の向上に協力し合える環境をつくっている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメント時にご本人様のご意向を確認し、それに添うサービス内容の説明を行う		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	インテークの段階で、受容と傾聴に努め、ラポール形成に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期面談の中で、本人又は家族の意向を把握、説明の上対応している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	かたらいの理念の基づき利用者を尊重し寄り添う関係作りに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	その方に応じた対策を家族の方と連絡を密にとり最善な方法で対応している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親類、その方のご近所の方、お友達など来られた時は居室にてお茶をしてもらい楽しく過ごして頂いています	町内会の運動会や老人会に参加したり、散歩時の声かけをしている。また、近所の方や友人の訪問時は居室でお茶を出しながら、継続的な交流がもてるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	馴染みの関係を作られたり、仲の悪い時は、スタッフが仲介し良い関係を作れるよう支援している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談員を通じ退所後の所在確認をし、必要に応じて相談や支援をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の傾聴に努め、本人の希望や意向に添うように努めている	利用者への職員担当制を導入し、傾聴に努めながら、本人の意向や思いを把握している。意向に添って買い物や散歩・外出等、個々にあった支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	昔の生活を振り返り一緒に教えて貰いながら利用者の希望している暮らしに少しでも近づけるような環境づくりを心がけている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人の活動状況表により1日の流れを把握し、早く変化に気付くように対応している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族との話し合いで生活暦を知りそれに沿ったケアプランを立てて会議等で検討したりしている	介護計画は、本人や家族の意向を取り入れ、個別的で具体的な内容となっている。モニタリングは毎月行い、3ヶ月に1回計画の見直しを行っている。状況変化時は随時の見直しも行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日のケアの記録や職員間のミーティングや連絡帳などを用いて情報の共有に努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々状況に応じて既存のサービス以外に柔軟なサービスの支援をしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の行事を把握し参加できる行事には、積極的に参加するように努たり、近隣の住民と気軽に話しが出来る環境を整えている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	同敷地内に医療機関があり、すぐに対応できる環境にある	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。母体医療機関における定期受診の他、皮膚科や整形外科などの専門医の受診は、本人や家族の意向にそって、適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>病院と連携している為、定期報告や異常があった時は病院へ連絡をし、適切な判断を頂いています</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時、利用者、家族、相談員、職員で病院関係者と連絡を密に取り、利用者又は家族の希望に添えるよう支援をしている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に重度化や見取りの指針について説明し、同意を得ている</p>	<p>「かたらいの看取り介護指針」があり、入居時に説明し同意書をもっている。看取り希望時は母体医療機関と連携し、訪問看護の支援体制も確立されている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に訓練を行ってはいないが、全職員普通救命講習を受講している。緊急時は早期対応出来る環境にある</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的訓練は実施しており、地域の方とも連絡をしアドバイスを受けています</p>	<p>毎年消防署の協力をもらい夜間想定避難訓練を実施している。毎月の避難訓練を行い職員の周知確認を図っている。消防署への協力体制があり、スプリンクラーは設置予定である。災害時の備蓄はこれからである。</p>	<p>災害時の備蓄が望まれる。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	介護者は、人格を尊重し利用者の意向に気付き、個人にあった言葉かけや対応を行っている	管理者は、日々のケアの中で自尊心を大切にされた声かけや対応を職員に指導している。職員は、年長者として敬意に心がけ、失禁時などさりげなく対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者に日常生活の希望を聞きその希望を叶えるよう努力している。また、表出できない利用者については、思いを汲み取る努力をしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の流れに沿っての決まり事はあるが無理強いはしないようにしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者が希望した時、理容師に来てもらい身だしなみを整えられるように支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者に何を食べたいか聞き、希望に添う献立を考えたり、配膳や片づけを手伝っていただいている	利用者に献立の希望を聞きながら、日々の料理を作っている。野菜の下ごしらえや片付けを利用者と一緒に行って食事を楽しめるよう支援している。栄養士に、栄養の面で個々にアドバイスをもらったり、定期的に栄養バランスの評価をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の摂取量を記録、把握し入浴後の水分補給を必ず取るように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、必ず自分できる利用者は声かけをし、出来ない利用者は介助している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を利用し、個人の排泄のタイミングを把握し介助している	個々の排泄パターンを把握し、オムツに頼らず、トイレでの排泄ができるように支援をしている。失禁時は、さりげなく声かけをして、誘導を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルト牛乳、野菜類を多く使った献立を工夫し予防に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴はその方に応じてゆっくり楽しんで頂いているが、今のところ一応曜日を定めている。本人の希望ある時は時と場合によって入浴してもらおうときもある	週3回の入浴を行っている。個々の希望に応じて随時の対応もできている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は外の空気に触れたり、活動に参加して頂き活気ある生活を送り夜間はゆっくり眠れる環境作りに勤めている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の病状を把握しその日の状態に合わせて内服調整を行いバイタルチェック表を活用し早期に病状の変化に気づけるよう努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節にあった行事を計画したり、月1回の外出の機会を設けたりしている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望する利用者は買い物に動向していただいたり、散歩に行ったりしている。また利用者と家族と年1回外出の場を設けている	日常的には、近隣を散歩したり、買い物に利用者と一緒に出かけている。また全員で外出する機会を作り、ドライブを兼ねて、初詣・花見・みかん狩り・1日遠足・外食等に出かけている。恒例の花見会には、家族も参加し交流の場を設けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>商品を選ぶ楽しさを味わって頂いたり希望により、買い物時商品とお金を持たせて支払いを見守っている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望により電話をしたり、手紙の代読をしている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節あった雰囲気づくりや室温管理に努め、快適な空間づくりに心がけている</p>	<p>玄関には季節の花が植えられ、ホームの横では家庭菜園も行っている。ホールにはソファやテーブルがあり、入居者手作りの作品が飾られ季節感がある。室内は明るく居心地良く過ごせるよう配慮されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ゆったりしたソファを設け、気のあう利用者同士で座れる環境である。独りになれる環境に関しては仕切り等はないが独りになれる環境ではある</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>相談に応じ本人が安心して暮らせるよう馴染みの物の持込には応じている。</p>	<p>居室には、タンスや鏡・馴染みの手押し車が持ち込まれている。鉢植えの花を育てたり、写・置物・手作り作品等を飾ったりして、個性的で居心地よく過ごせるよう配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの能力を理解し出来る範囲内で自立した生活が送れるよう支援している</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない